



スキルスラボ内覧会報告

黒川 信悟

(教授・医療技術教育研究部門)

スキルスラボの設置計画から約1年が経過し、設置場所もなく教育機器もない状態からようやく内覧会を開催することができるまでに整備されました。相澤好治医学部長、岡安勲大学院医療系研究科長、藤井清孝大学病院長、赤星透キャリア形成センター長をはじめ多くの方々のご支援とご協力によりこの日を迎えることができ感謝申し上げます。また、医学部の予算、大学病院の予算、癌プロフェッショナル養成補助金、大学病院連携型高度医療人養成推進事業プログラムの補助金など多方面の資金的支援を受けましたことをご報告いたします。

スキルスラボの設置運営に関してはセクショナリズムを排除し、医学部と大学病院が連携協力して設立運営に当たること、卒前教育、卒後研修、専門医研修ばかりでなく生涯研修の場として機能すること、医師だけでなく医療に携わる多職種の研修の場であること、将来の学部横断的研修の運営の基礎となることを基本的姿勢として掲げております。

スキルスラボは大学病院9C病棟に設置され、もともと病棟として使用していた施設ですので使い勝手は非常によく、約700㎡の面積を有効に使用することができます。施設面積は他の施設に比べかなり恵まれており、またアクセスもよいことは将来の発展性を約束するものです。管理人として医学部技術員三村剣司さんが常駐し、医学部および大学病院担当者として私が運営整備にあたっています。トレーニングルーム3室、講義室、図書室、超音波室、内視鏡室、診察室3室、スキルスラボ事務室、臨床研修センター事務室、模擬患者コーディネーター室から構成されております。4台の大型液晶テレビ、PC端末10台によりイン



ターネット環境が構築され、診察室には遠隔操作可能なビデオカメラが無線LANで接続されており、画像を記録し振り返り再生をするあるいは実況映像を視聴することが可能です。教育機器としては静脈穿刺トレーナー（腕）10台、中心静脈穿刺トレーナー2台、AEDトレーナー（上半身）5台、AEDトレーナー（全身）1台、脊椎穿刺シミュレータ1台、腰椎・硬膜外穿刺シミュレータ1台、膝穿刺シミュレータ1台、肩穿刺シミュレータ1台、乳癌検査シミュレータ1台、手洗い評価キット2台、外科縫合練習キット10台、直腸診トレーナー1台、内視鏡下手術トレーナー3台、大腸内視鏡トレーナー1台、上部消化管・ERCP研修モデル1台、気道管理トレーナー1台を新規購入し、中古機器として超音波断層装置2台、心拍モニター5台、除細動器4台、レスピレーター3台、心電計1台が常備されています。

当面の運営は予約制として教育機器による研修と講義室としての利用から開始したいと考えております。将来的には目的に応じたプログラムを作成し定期的な研修を行えるような体制を組みたいと考えております。予約は電話（内線8319）、事務室窓口（9C）、メール（kmimura@kitasato-u.ac.jp）の3方法にて受け付けますのでご利用ください。

技術の向上、医療安全の確保など今後スキルスラボのニーズは大きくなると思われます。スキルスラボをうまく利用し、自信を持って臨床の現場で活躍してください。技術を身につけた先輩医師の方々の協力なくしてはスキルスラボの機能は十分に発揮されません。重ねて皆様のご支援ご協力をお願いします。

